リコージャパン株式会社

クラウドサービス for サーバーセキュリティ

導入手順書

3.0版

2022/01/17

- ※ 本ソフトウェアの導入時に、OS 上のネットワークドライバの導入が行われる為、ネットワ ークの瞬断が発生する場合があります。導入作業前の注意事項としてお伝えください。
- ※ 画面表示は2015年8月時点の画面であり、本手順書の画面と実機が異なる場合があります。
- ※ ログオン手順の画面表示は 2022 年1月時点の画面であり、本手順書の画面と実機が異なる 場合があります。
- ※ 本サービスで提供する製品名称が『Trend Micro Deep Security[™] as a Service』から 『Trend Micro Cloud One[™] Workload Security』へ変更となりました。本手順書内・画面 にて、新旧の製品名称が混在しておりますことをご了承願います。
- ※ 上記注意事項については、2章注意事項に説明があります。

文書変更履歴

版数	発行日	改定履歴	
0.2版	2015/8/18	初版発行	
1.0版	2015/8/31	リリース版発行	
1.6版	2015/12/08	修正版発行	
		プロキシの登録手順修正	
1.7 版	2016/01/25	修正版発行	
		注意事項追加	
		プロキシ経由接続のエージェントのインストール手順修正	
1.8版	2016/2/10	P.14 項目 22 修正	
1.9 版	2016/11/9	・P.18 項目 3 画像修正	
		・P.39 項目 12 画像修正	
2.0版	2017/7/21	・P.8 Feature Pack と通常モジュールに関する注意事項を追加	
		・P.9(旧 P.8)の Agent のダウンロード画面を差し替え	
3.0版	2022/1/17	・ログオン手順変更を反映(URL・認証情報)	
		・製品名称変更について記載(Deep Security as a Service ⇒	
		Trend Micro Cloud One Workload Security)	
		・Trend Micro 社の参照 URL 変更を反映	

目次

1.	作業前に確認する項目	3
2.	注意事項	5
3.	直接接続のエージェントのインストール	7
3.1.	インストール正常終了の確認	18
3.2.	手動検索の実施	20
4.	プロキシ経由接続のエージェントのインストール	25
4.1.	インストール正常終了の確認	36
4.2.	手動検索の実施	40

- 1. 作業前に確認する項目
- お客様のテナント情報(ユーザーポータルへのサインイン情報)を『ご契約内容のご案内』メールと 『Cloud One への招待』メールより入手してください。 ※『ご契約内容のご案内』メールと『Cloud One への招待』メールは、サービスご利用開始時に、申 込書に記載いただいたお客様メールアドレスへ送付いたします。メールが届かない場合は、弊社担当 営業までお問合せください。
 - ◆ メールアドレス
 - ♦ Password

※Password は『Cloud One への招待』メール本文記載の URL よりお客様にて初期設定が 必要です。手順については、下記のサポートサイト掲載の『ユーザーガイド』をご参照ください。 https://itkeeper.service.ricoh.co.jp/isp2/cs_svsec/usermanual.html

- ➤ インストールするサーバの OS バージョンを確認してください。
- お客様環境のインターネット接続情報のうち、プロキシ経由にてインターネットへ接続している場合は、 プロキシサーバの以下の情報を確認してください。 (申込時にご提出いただいた[申込詳細情報シート]の[5.プロキシサーバー情報]でも確認可能です。)
 - ♦ IP アドレス
 - ◇ ポート番号
 - ◆ 認証ユーザー名(※プロキシ認証有りの場合)
 - ◆ パスワード(※プロキシ認証有りの場合)
- クラウドサービス for サーバーセキュリティ エージェントをインストールするサーバの Web ブラウザ(※) から、管理画面にアクセスできることを確認する。
 https://cloudone.trendmicro.com/



※ 管理画面にアクセスする Web ブラウザの動作要件がありますので、注意事項の⑥を確認してく ださい。

2. 注意事項

① ネットワークの瞬断が発生する

[重要事項確認書 記載内容]にも記載しております。

アプリケーションの仕様となりますので、作業前の注意事項としてご確認ください。

<重要事項確認書 記載内容>

・本ソフトウェアの導入時に、OS上のネットワークドライバの導入が行われる為、ネットワークの 瞬断が発生します。

必要に応じて、サーバーの関係部署などヘシステムメンテナンスの調整を行ってください。

く参考>

【Deep Security Agent のインストール時のネットワーク瞬断について】

https://success.trendmicro.com/jp/solution/1106385

従来は、Web レピュテーション、ファイアウォール、侵入防御の機能をご利用の場合 DSA にネットワ ークドライバがインストールされるため瞬断が発生しました。

Deep Security Agent バージョン 9.5 より無瞬断ネットワークドライバーが導入されました。 これらのバージョンを使用した新規インストール、アンインストールまたは、アップグレードでは瞬断が発 生しなくなります。

② インターネット接続環境により作業手順が異なる

インストール対象サーバがインターネットに直接接続をする場合と、接続にプロキシを経由する場合とで、手順が異なります。 プロキシ接続せず、インターネットに直接接続するサーバは3章、プロキシ経由で接続するサーバ

しキシ接続ビダ、1ノターネットに直接接続ダるリーバは 3 単、ノロキシ柱田で接続ダるリー/ は4章の手順を実施してください。

③ プロキシ認証の方式に制限がある

インターネット接続にプロキシサーバを経由し、プロキシ認証を行っている場合、認証方式は、 Basic 認証のみ利用できます。 Digest 認証と NTLM 認証はサポートしていません。

④ 他のウイルス対策ソフトウェアとの併用はできない

導入されている場合、クラウドサービス for サーバーセキュリティの導入失敗や稼働障害 の原因となりますので、導入前に他のウイルス対策ソフトウェアのアンインストールを行ってくださ い。

[重要事項確認書 記載内容]の P.2 "■クラウドサービス for サーバーセキュリティ 動作要件"のその他①欄にてご案内しています。

⑤ ServerProtect が過去に導入されていた環境でのインストール不具合事例 ServerProtect をアンインストール後のサーバでエージェントのインストールに失敗することがあ ります。

該当環境でインストールに失敗した場合、以下文章の"SPNT アンインストール後に Deep Security Agent 等の"で始まる文章をご確認いただき、手順に従い ServerProtectの手動 アンインストールを実施してください。

【ServerProtectのアンインストール手順】 https://success.trendmicro.com/jp/solution/1313920

<文章抜粋>

SPNT アンインストール後に Deep Security Agent 等の弊社別製品をインストール頂く場合 は、ドライバ等の競合により正常にインストールが出来ない場合ございます為、手動にてドライ バの情報を削除する必要がございます。

⑥ Web ブラウザの動作要件
 管理画面にアクセスする Web ブラウザに動作要件があります。

[重要事項確認書 記載内容]の P.2 "■クラウドサービス for サーバーセキュリティ 動作要件"の Web ブラウザ欄にて、以下を記載しています。

- Firefox
- Microsoft Internet Explorer 11, Edge
- Google Chrome
- ※ Cookie を有効にする必要があります。
- ※ 各 Web ブラウザの最新版のご使用を推奨します。
- ※ Javascript を有効にする必要があります。(注)
- ※ ファイルのダウンロードを有効にする必要があります。(注)
- (注)リモート導入オプション提供時に必要となる動作要件です。
- ⑦ 管理画面の表示

SaaS のため、管理、操作画面の変更は予告なく発生します。 本手順書は 2015 年 8 月時点の画面であり、本手順書で記載する画面と実機が異なる場合 は、実機とマニュアルを読み比べ、用語が同じ、もしくは近い画面、メニューを開いてください。 3. 直接接続のエージェントのインストール

インターネットに直接接続するサーバにエージェントをインストールする手順です。

- 1. Deep Security Manager (クラウドサービス for サーバーセキュリティの Web 管理画面) に、 お客様のテナント認証情報でサインインします。
 - ※ URLは、[https://cloudone.trendmicro.com/]です
 - ※ 認証情報として、[メールアドレス]、[パスワード]の二点を入力し、[ログオン]をクリックします。



2. [Workload Security] をクリックします。



- () Anttps://app.deepsecurity.trendmicro.com/Application.screen?#dashboard ⊽ Cª Q Deep Security アラート イベントとレポート コンピュータ ポリシー 管理 Default 🕂 すべて▼ 24時間表示 ▼ すべてのコンビュータ • アラートステータス × コンビュータのステータス × マイアカウントのステータス ■ 重大: 0 - 警告: 2 アカウント名: -コンピュータのステータ ユーザ名: 8 最新のアラート: 期間 ス: ■ 新しいパターンファイルアップ... 2015-0... Full Access 役割: 🖲 重大: 0 Agent/Applianceのアップグレ... 2015-0... 最終ログオン: 2015-08-14 14 😑 警告: 1 前回のログオン: 2015-08-10 17: 😑 管理対象: 1 ● 非管理対象: 0 総ログオン回数: 31 不正プログラム対策イベント履歴 × 不正プログラム対策のステータン 感染コンピュータのトップ5: 検索結果: ■ 駆除 取得可能な情報はありません ■ 隔離 2
- 3. サインイン後の Deep Security Manager 画面です。

4. Deep Security Manager 画面の右上にある [サポート情報] をクリックし、表示されるメニューから [Agent のダウンロード] をクリックします。

	 ログオフ (∂ ヘルプ	🟮 サポート情報 🚽	
管理	里	はじめ		
		サポー	卜情報	
カウントの	システータス	Agenta	のダウンロード	^
い名:	مرانق	使用許	諾契約書	
f名:	<u>&</u>			
	Full Access	バージ	ョン情報	
14° 1 1 e	201E 00 10 14·E0	+	m /#/+#&UC /~ +-+L#00	

- 5. エージェントをインストールするサーバの OS の該当するプラットフォームの最新バージョンのエージェント をクリックし、ダウンロードが開始することを確認します。
 - ※ [Microsoft Windows]は、リストを下に 1/3 程度スクロールした位置にあります。
 - ※ 最新バージョンは、プラットフォーム内で一番上に表示されます。
 - ※ Windows Server 2008 R2 以降の OS は 64 bit のみです。

※ 2017 年 7 月 15 日以降、「Feature Pack」バージョンがリリースされますが、Feature Pack には制限事項があるため使用できませんので、最新バージョンに Feature Pack が表示されている 場合は、その下の通常モジュールをダウンロードしてください。

※ 通常モジュールは、バージョン番号の二桁目が「0」であり、それ以外は Feature Pack です。

例: 10.2.X.XXXX: Feature Pack

10.1.X.XXXX: Feature Pack

10.**0**.X.XXXX: **通常モジュール**



6. Internet Explorer で操作をしている場合、下部に出てくるバーで[保存]、もしくはポップアップウィンドウで[ファイルを保存]をクリックします。



※ ブラウザのバージョンにより、画面やメッセージが異なります。

7. 保存が終わったら、[ファイルを開く]をクリック、もしくは保存先フォルダを開いてファイルをダブルクリック します。

Agent-Windows-9.5.3-2754.x86_64.zip のダウンロードが完了しました。 ファイルを開く(<u>O</u>) ▼ フォルダーを開く(<u>P</u>) ダウンロードの表示(<u>V</u>) × (2)	~~~~~~~~~~ / <i>I</i>			ы -
	Agent-Windows-9.5.3-2754.x86_64.zip のダウンロードが完了しました。	ファイルを開く(Ω) ▼ フォルダーを開く(₽) ダウンロードの表示(⊻)	×	(2)

※ ブラウザのバージョンにより、画面やメッセージが異なります。

8. セキュリティの警告が出た場合、[実行]をクリックします。



9. インストールが始まります。設定は初期値で進めます。

🖞 🛛 Trend Micro De	eep Security Agent セットアップ 🛛 🗕 🗖 🗙	🖞 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 💶 🗙
	Trend Micro Deep Security Agent セットアッ プ ウィザード へようこそ	使用許諾契約書 以下の使用許諾契約書をよくお読みください。
	セットアップウィザードでは、Trend Micro Deep Security Agent の機能をコンピューダにインストールする方法を変更したり、コン ビューダがら Trend Micro Deep Security Agent 各形除したりで きます。続けするには、1次イハ をグリックして代名い、セットアップ	使用許諾契約書について 本製品の使用許諾契約の内容につきましては、製品インストールメディア内
	ウィザードを終了するには、[キャンセル]をクリックしてください。	に格納されている使用許諾契約書をご確認ください。 格納されている使用許諾契約書と当社webサイトに掲載している使用許諾契 約書に異なる定めがあった場合には、当社Webサイトに掲載されている使用 許諾契約書が優先されます。
	1	また、CD-ROMなどのインストールメディアのない製品やサービスにつき ては、当社Webサイトに掲載している契約書をご確認くたさいますようお見 「使用料:話契約書(ご同意します(A)
	戻る(B) 法へ(M) キャンセル	印刷(P) 戻る(B) 次へ(M) キャンセル
👸 🛛 Trend Micro De	eep Security Agent セットアップ 📃 🗖 🗙	🥫 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 🔷 💌 🗙
インストール先フォルダ 既定のフォルダにインストーノ (こは [変更]をクリックします。	レするには[[次へ]をクリックし、別のフォルダを選択する	Trend Micro Deep Security Agent のインストール準備完了
Trend Micro Deep Security A	ugent のインストール先:	インストールを開始さするには「インストール」をクリックしてください。インストール設定を確認また は変更するには(戻る)をクリックしてください。ウィザードを終了するには「キャンセル」をクリック してください。
c.++rugrain lies+frend hid 変更(<u>c</u>)	Lordeep Jeculky Agent+	
	3	(4)
	戻る(B) 次へ(W) キャンセル	戻る(B) インストール(J) キャンセル

🦻 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 🔷 🗖 🗙	👸 🛛 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 🛛 🗕 🗖 🗙
Trend Micro Deep Security Agent をインストール中	Trend Micro Deep Security Agent セットアッ プウィザードが完了しました
Trend Micro Deep Security Agent をインストールしています。しばらくお待ちください。	セットアップウィザードを終了するには、[完了] ボタンをグリックします。
状態: コンボーネントの登録を更新しています	
5	6
戻る(B) 次へ(II) キャンセル	戻る(6) 完了(F) <i> キャンセル</i>

10. タスクバーに[Trend Micro Deep Security]のアイコンが表示されたことを確認します。



- 11. Deep Security Manager 画面に戻り、手順4から5で使用した[Agentのダウンロード]画面が まだ表示されている場合は、[閉じる]で閉じます。
 - ※ Deep Security Manager 画面を自動サインアウトされた場合は、サインインしてください。

Microsoft Windows (64 bit)	<u>^</u>
9.5.3.4017 Agent-Windows-9.5.3-4017.x86_64.zipのインストーラ	
9.5.3.2754 Agent-Windows-9.5.3-2754.x86_64.zipのインストーラ	
9.5.2.2023 Agent-Windows-9.5.2-2023.x86_64.zipのインストーラ	
9.0.0.4002 Agent-Windows-9.0.0-4002.x86_64.msi (SHA-1: CC:E9:89:6A:88:67:F3:38:78:5E:37:39:08:37:4D:DF:80:94:F4:92)	
9.0.0.3500 Agent-Windows-9.0.0-3500.x86_64.msi (SHA-1: BA:00:68:AD:0A:EC:67:19:3C:97:FF:E9:3C:E0:DB:FC:9D:65:CE:A1)	
9.0.0.3044 Agent-Windows-9.0.0-3044.x86_64.msi (SHA-1: 41:BA:CB:44:BF:5D:E9:EB:44:5F:F5:F2:CB:C1:F1:F4:5B:BC:FA:BE)	
9.0.0.2404 Agent-Windows-9.0.0-2404.x86_64.msi (SHA-1: 5D:E2:0A:65:62:28:1E:22:B0:C9:48:0F:2D:7A:5D:62:3E:C3:1A:0F)	-
	開じる

- 12. エージェント有効化のため、コマンドプロンプトを起動します。
 - ※ コマンドプロンプトをメニューやタスクバーから見つけにくい場合、[Windows]+[R]キーを押し、 [ファイル名を指定して実行]画面で、[名前]に[cmd]と入力して[OK]で呼び出すのが便利で す。



13. Deep Security Manager でクラウドサービス for サーバーセキュリティ エージェントの有効化スク リプトを作成します。

Deep Security Manager 画面の右上にある [サポート] をクリックし、表示されるメニューから [インストールスクリプト] をクリックして、インストールスクリプトジェネレータを起動します。

	-		- ログオフ 🕜 サポート 🕶
			はじめに
			オンラインヘルプ
			インストールスクリプト
 ایر	×	ライセンス情報	サポート
		4 5 0	Agentのダウンロード (由田時時業初始)の

- 14. [プラットフォーム:]のリストダウンボックスで、エージェントをインストールするサーバの OS に該当するプ ラットフォームを選択します
 - ※ Windows Server 2008 R2 以降の OS は 64 bit のみです。
 - ※ プラットフォームが[なし]しか出ない場合、システム要件にあっていない Web ブラウザを使用して いないか確認してください。

インストールスクリプト			
RightScale、Chef、Puppet、SSH な WindowsとLinux以外のブラットフォ	こどのツールを使用して、Agentを手動でイ ームについては、インストールガイドを参照して	ノストールまたは配信できます。 ください。	
プラットフォーム:	なし	-	
🔲 Agentを自動的に有効化	CloudLinux 5 (64 bit) CloudLinux 6 (32 bit) CloudLinux 6 (64 bit) Microsoft Windows (22 bit)	•	
	Microsoft Windows (32 bit) Oracle Linux Release 5 (32 bit) Oracle Linux Release 5 (64 bit) Oracle Linux Release 6 (64 bit) Oracle Linux Release 6 (64 bit) Red Hat Enterprise 4 (32 bit) Red Hat Enterprise 5 (32 bit) Red Hat Enterprise 5 (32 bit) Red Hat Enterprise 6 (32 bit) Red Hat Enterprise 6 (32 bit)	E	

- 15. [Agent を自動的に有効化] をチェックします。
 - ※ その下にある、[セキュリティポリシー]、[コンピュータグループ]、[Relay グループ]の設定は変更 不要です。

RightScale、Chef、Puppet、SS WindowsとLinux以外のプラットフ	Hなどのツールを使用して、Agentを手動でイ ォームについては、インストールガイドを参照して ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	ンストールまたは配信できます。 <<ださい。
プラットフォーム:	Microsoft Windows (64 bit)	•
☑ Agentを自動的に有効化		
セキュリティポリシー:	なし	•
コンピュータグループ:	コンピュータ	▼
Relayグループ:	ブライマリテナントのRelayグループ	•
備考 Agentからのリモート の手順ページを参照	・有効化では、ホスト名、説明、一意のID、および してください。	その他のブロバティも設定できます。

16. 枠内のスクリプトを全て選択し、右クリックのメニューから[コピー]します。

インストールスクリプト		
RightScale、Chef、Puppet、SSHな	どのツールを使用して、Agentを手動でインストールまたは配信できます。 - ルニットマロナ インフトールガイドを参照してください	
プラットフォーム:	Microsoft Windows (64 bit)	
☑ Agentを自動的に有効化		
セキュリティポリシー:	tau 🔻	
コンピュータグループ:	コンピュータ ・	
Relayグループ:	プライマリテナントのRelayグループ ▼	
個考 Agentからのリモート有 の手順ページを参照し⁻	幼化では、ホスト名、説明、一意のID、およびその他のブロバティも設定できます。詳細については、オンラインヘルブのコマンドラ こください。	И)
& \$Env:ProgramFiles"¥Trend Micro¥	Deep Security Agent¥dsa_control" −r	*
& \$Env:ProgramFiles" ¥Trend Micro¥I ACFC5E8902DD" "tenantPassword:	beep Security AzentVides control" -> dow://scents deencerysity trendmicro.com:443/ "tenantID:A151BD66-7FDF-1BF4-7E61- 101337F2-7 元に戻す(U)	•
Stop-Transcript	切り取り(工)	
Cho a(Get-Date -format 1) - DSA K/powershell>		· ·
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	貼り付け(<u>P</u>) 開じる	,
	削除(<u>D</u>)	

- 17. メモ帳を起動し、手順 16 でコピーしたスクリプトを貼り付けます。
 - ※ メモ帳をメニューやタスクバーから見つけにくい場合、[Windows]+[R]キーを押し、[ファイル名 を指定して実行]画面で、[名前]に[notepad]と入力して[OK]で呼び出すのが便利です。

<pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre>	internet Component (Catholic Control - Percel	λ.
\$env:LogPath =	In Manager J. Server of the Server function of the Server	
New-Item -na	第2011年1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	_ D X
	ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)	
[±] λ [×] [×] WebLL [±] =5	<pre>Spowershell> [Net.ServicePointManager]::ServerCertificateValidationCallback = [\$true] [Net.ServicePointManager]::ServerCertificateValidationCallback = [\$true] ServicePointManager]::ServerCertificateValidationCallback = [\$true] ServicePointManager]::ServerCertificateValepointVagentVinstaller New-Item = path ServicePath - type directory Start=Transcript - path ServicePath * type directory Start=Transcript - path * ServicePath* scaleploy.log* - append echo * \$(Get=Date - format T) - DSA download started (New-Ubject System.Net.WebClient).DownloadFile(* https://app.deepsecurity.trendmicro.com:443/software/aw echo * \$(Get=Date - format T) - DSA download File ?;e; (Get=Item * Serv:teme*awent.msi*).length echo * \$(Get=Date - format T) - DSA install started" echo * \$(Get=Date - format T) - Installer Exit Code: "(Start=Process - FilePath msiexec - ArgumentList "/i echo * \$(Get=Date - format T) - DSA activation started" \$tart=Step = s 70 \$ \$Env:ProgramFiles*¥Trend Micro*Deep Security Agent*dsa_control* -r & \$Env:ProgramFiles*¥Trend Micro*Deep Security Agent*dsa_control* -r & \$Env:ProgramFiles*¥Trend Micro*Deep Security Agent*dsa_control* -r & \$Env:ProgramFiles*Trend Micro*Deep Security Agent*dsa_control* -r & \$Geverbetlb</pre>	sent/Windows/x \$env:temp¥ager cro.com:443/ ~
		~
Jnifi	K III	× A

- 18. 下から4行目の、[dsa_control" -a]の行を選択します
 - ※ 行番号は実機では異なる可能性があります
 - ※ この行には、お客様固有の[tenantID]、[tenantPassword]が記載されています

選択箇所は[dsa_control" -a dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/



- ※ 画面の右側表示が切れた場合、[書式]→[右端で折り返す]にチェックを入れて、メモ帳を折り 返し表示してください。
- ※ 画面は折り返し表示をしているメモ帳です。

19. 選択した行を、コピーします([Ctrl]+[C])。

20. [ファイル]→[新規]で、新規メモ帳画面を表示します。

※ [無題への変更内容を保存しますか?]とでたら、[保存しない]を選択します。

	無題 - 火モ帳	x
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V)	へ <i>いブ(H)</i>	
新規(N) Ctrl+N		^
開<(0) Ctrl+0	verbertificateValidationballback = {\$true} rend Micro¥Deep Security Agent¥installer″	
上書き保存(S) Ctrl+S	ype directory	
名前を付けて保存(A)	pgPath¥dsa_deploy.log″ -append DCA demolecule at at at at a	
ページ設定(U)	ht).DownloadFile	
印刷(P) Ctrl+P	pdmicro.com:443/software/agent/Windows/x86_64/", "\$eny:temp¥agent.msi")	
Xモ帳の終了(X)	–Downloaded File Size: (Get-Item ⊅env:temp≄agent.msi).length DSA install started″	
echo \$(Get-Date -format 1) -	Installer Exit Code:" (Start-Process -FilePath msiexecArgumentList "/i \$env:temp	
¥agent.msi /qn ADDLUCAL=ALL / echo "\$(Get-Date -format T) -	I*v \$env:LogPath¥dsa_install.log -₩ait -PassIhru).ExitUode DSA activation started″	
Start-Sleep -s 70		
& \$Env:ProgramFiles″¥Trend Mi	cro¥Deep Security Agent¥dsa_control″-r	
tepapt ID: A1518D66-7EDE-18E4-	CrofDeep Security Agent#dsa_control = a dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ 7F61-ACEC5E8902DD ~~ tenantPassword:901337E2-A2D0-C2DR-C27E-14818E29B85C ~	
Stop-Transcript		
echo "\$(Get-Date -format T) -	USA Deployment Finished	
V powersner iz		\sim

21. コピー内容を貼り付けます([Ctrl]+[V])。



22. 張り付けた行を、メモ帳上で以下のように加工します。 △は半角スペース1つを意味します。

変更前

dsa_control" \triangle -a \triangle dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ \triangle "tenantID:[お客様のテナント ID]" \triangle "tenantPassword:[お客様のテナントパスワード]"

変更後(dsa_controlの後のダブルクォーテーションマーク(")1 つを取りました)

dsa_control △ -a △ dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ △ "tenantID:[お客様のテナント ID]" △ "tenantPassword:[お客様のテナントパスワード]"

23. コマンドプロンプト画面でクラウドサービス for サーバーセキュリティエージェントのインストールフォルダ に移動します。

 $cd \triangle "C: \texttt{Program} \triangle \texttt{Files} \texttt{Trend} \triangle \texttt{Micro} \texttt{Poep} \triangle \texttt{Security} \triangle \texttt{Agent}"$

24. 手順 22 で加工した行を、選択しコピーします。

			無題 - 乂モ帳	x
ファイル (F)	編集(E) 書式(O)	表示(V) ヘルプ	(H)	
dsa_con	元に戻す(U)	Ctrl+Z	security.trendmicro.com:443/ "tenantID:A151BD66-7FDF-1BF4-7E61-ACFC5E8902DD"	^
tenanti	切り取り(T)	Ctrl+X	5-027E-14818F28B800	
	⊐ピ–(C)	Ctrl+C		
	貼り付け(P)	Ctrl+V		

25. コマンドプロンプト画面上で右クリックし、メニューから[貼り付け]を選択します。

	無題 - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V)	ヘルプ(圧)
dsa_control″ -a dsm://agents. ″tenantPassword:901337F2-A2D0	deepsecurity.trendmicro.com:443/ "tenantID:A151BD66-7FDF-1E -C2DB-C27E-14818F29B85C"
	Microsoft Windows [Version 6.2.9200] (c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.
	C:¥Users¥Administrator>
	コピー(Y) Enter
	貼り付け(P)
	すべて選択(S)
	スクロール(L)
	検索(F)

26. 貼り付けた行の最後にカーソルがあることを確認して、Enterキーを押します。

27. 実行結果を確認します。

以下のような画面出力で、「Command session completed.」で終われば完了です。

HTTP Status: 200 - OK Response: Attempting to connect to https://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ SSL handshake completed successfully - initiating command session. Connected with AES256-SHA to peer at agents.deepsecurity.trendmicro.com Received a 'GetHostInfo' command from the manager. Received a 'GetHostInfo' command from the manager. Received a 'SetDSMCert' command from the manager.

Received a 'GetAgentEvents' command from the manager.

Received a 'GetInterfaces' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'GetAgentStatus' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'SetSecurityConfiguration' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager.

- ✓ 本作業にて、クラウドサービス for サーバーセキュリティのエージェントインストールが正常に終了しました。
- 28. 以上でインストールは完了です。インストールの正常終了を確認するため、次章の手順を実施します。

- 3.1. インストール正常終了の確認
- 1. Deep Security Managerの[コンピュータ]タブを開き、エージェントをインストールしたサーバが"管 理対象(オンライン)"と表示されることを確認します。

🥏 TREND. Deep	Security		C.C., C.C., D.J.A
ダッシュボード	75-ト イベントとレポート コンピュータ オ	ロシー 管理	
□ ⊐12 ² a-9	コンピュータ サブグループを含む マ グループ別 マ		् सः
	□□ 新規 · □ 形除 □□ 詳細 処理 · イベル ·	≦」エクスポート •	列
	名前 ~ 18明	ブラットフォーム ポリ	ンー ステータス
	B コンピュータ(2)		
	■ ec2-54-188-181-77.us このコンピュー気は、Deep Security.	Microsoft Wind なし	 ポリシー送信中
	ML350G6-01.toriton.local	Microsoft Wind なし	● 管理対象(オンライン)
	٠	m	

2. ポリシーを変更します。

登録したサーバを選択し反転している状態で、[処理]→[ポリシーの割り当て]をクリックし、表示されるポリシー一覧からポリシー(※)を選択し[OK]をクリックします。

	eep Security				-	
ダッシュボード	アラート	イベントとレポート	コンピュータ	ポリシー	管理	
- 2742-3		- 9 サブグルーブを含む 目・1 前野・1 計評 前▲ 109 ユーラ(2) 2:54-188-181-77.us この 2:5005-01 fonton local	 ▼ グルーブ別 ▼ ● 処理 ・ イベ 用 ● 処理 ・ イベ 用 ● 気力した再相 ビステータスの ● 出かし ● ポリシーの32 ● ポリシーの32 ● オリルーブへの ● グルーブへの ● ブルーブへの ● ブルーブへの ● マルーブへの ● マルーブへの ● マルーブへの ● マルーブへの ● マルーブへの 	レト・ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(-ト・ 通列 ネ ポリシー d なし d なし	 ステータス ● ポリシー送信 ● ポリシー送信

※ 適用するポリシーは、以下のように OS により異なります。

- > OS が【Windows Server 2003 32bit 以外】の場合は、【RJ Policy】を選択します。
- OS が【Windows Server 2003 32bit】の場合は、【RJ Policy(2K3_32bit)】を選択します。
- 3. ポリシー欄で割り当てたポリシー名が表示されたことを確認します。

	p Security		RJ_DSaaSTest_FS	3_SVSprt <mark>Useradmin</mark> 1	- ログオフ 🕡	ヘルプ 🗘 サポート情報 🕶
ダッシュボード	アラート	イベントとレポート	コンビュータ	ポリシー	管理	
	コンピュ	ータ サブグループを含む 8アカウントの追加 ご 新規	 グループ化しない ① 削除…)▼	 Q 検索 イベント → □□ 	
	名前	説明	1 1	プラットフォーム	ポリシー ▲	ステータス
		33-01		MICTOSOIL WING	RJPOlicy	

4. サーバをダブルクリックし詳細画面を開き、[概要]-[一般]タブの[ステータスの確認]をクリックし、ステ ータフを再新します

うへんて大利しょ	v У о	And and a second second second		Second and	
ML350G6-01.tonton.iocal - Mozi	nia Fireiox	10.01			(
https://app.deepsecurity.trend	micro.com/ComputerEditor.screen?ho	stID=81			
コンピュータ: ML350G6	-01.toriton.local				🔞 ヘルプ
💂 概要	→ 設 処理 イベント				
◎ 不正プログラム対策					^
🚭 Webレビュテーション					
◎ ファイアウォール	ブラットフォーム:	Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 bit) Build 7600			
③ 侵入防御	グループ:	コンピュータ	-		
◎ 変更點視	ポリシー:	Base Policy > RJ Policy	•	編集	
 セキュリティログ転2月 	資産の重要度:	なし	•	編集	
	セキュリティアップデートのダウンロード 	ブライマリテナントのRelayグループ	•	編集	
■ インタフェース					
🌼 設定	ステータス				
見 アップデート	Agent				
碞 オーバーライド	ステータス: ● ステータスの				
	+11:2037 JAAA泉. () オフィンスト Webl ピュテーション () オフィンスト				=
	ファイアウォール:	·-ルされていません。1つのルール			
	侵入防御: ③ オフ、インスト	ールされていません、ルールなし			
	変更監視:	ーールされていません、ルールなし			
	セキュリティログ監視: 🍈 オフ, インスト	ールされていません、ルールなし			
	オンライン: はい				
	前回の通信: 2015-08-20	12:50			
	ステータスの確認	警告/エラー のクリア			
					*
				保存	閉じる

※ ステータスに警告やエラーが出た場合、[警告/エラーのクリア]をクリックし、再度[ステータスの確認]をクリックしてください。

※ ステータスの確認中は、[ステータスの確認]はグレーアウトしクリックできません。

5. ステータスが[管理対象(オンライン)]となれば、インストール正常終了の確認が完了です。

	p Security			• مواند + مواند	・ ログオフ 🔞 ヘルブ 🗘 サポート情報
ダッシュボード	アラート イベントとレポート	コンピュータ	ポリシー 管理	<u>l</u>	
= =) L'1-9	コンピュータ サブグループを	含む マ グループ別 マ			Q 検索
	新規 ▾ 📑 削除 🔳]詳細… 処理 → イベント	• 🔂 エクスポート 🔹	[]] 列	
	名前 ▲	11月11月	プラットフォーム オ	ドリシー ステータス	ポリシーの送信の成功
	コンピュータ (2)				
	ec2-54-188-181-77.us	このコンピュータは、Deep Sea	urity Microsoft Wind な	こし 😑 管理対象 (オン	/ライン) 1時間前
	ML350G6-01.toriton.local		Microsoft Wind F	RJ Policy 🛛 😑 管理対象 (才).	/ライン) 22分前

6. 以上で正常終了の確認は完了です。初回手動検索を開始するため、次章の手順を実施します。

3.2. 手動検索の実施

1. Deep Security Managerの[コンピュータ]タブを開き、登録したコンピュータをダブルクリック、または 右クリックからのメニューで[詳細]を開きます。



2. [侵入防御]をクリックします。

NL350G6-01.toriton.local - Mozill	la Firefox						×
A https://app.deepsecurity.trendn	micro.com/ComputerEditor.screen?ho	ostID=61#com.trendmicro.ds.	networkDeepPack	etInspection	.screen?hostID=	61	
コンピュータ: ML350G6-	-01.toriton.local					Q	へいき
一 概要 ② 不正プログラム対策 ③ 水正プログラム対策 ③ 次クアウォール ③ 支更監視 ④ 支更監視 ④ セキュリティログ監視 ● インタフェース	 一般 詳細 イベント (役入防御) 設定: 継承(オン) ステータス: (④ オフ,防御, インストー) (役入防御の動作: (例) (役) (役) (役) (役) (役) (役) (役) (ワークス) (ロークス) (ロークス)	■ レ保留中、ルールなし ール					
	割り当て/割り当て解除 🔟 プ	ロバティ 🔝 エクスポート 👻	🔞 アプリケーション	の種類 [🙀 列		
	名前 🔺	アプリケーションの種類	優先度	重要度	モード	種類た	=
<u> </u>		₪スト℩ϲアイテム	」がありません)				
	•	m				Þ	
	 推奨設定 現在のステータス: 前回の推奨設定の検索: ▲ 未解決の推奨設定: (0個の侵入防御ルールが割り当て 2015-08-10 15:08 687(個の追加ルールの割り当て 可能な場合): 総承(はい) 推奨設定の検索の	られています マ キャンセル	ł	崔顕設定をクリア		
					保存	R1 R1	>

3. [推奨設定の検索]をクリックします。

B ML350G6-01.toriton.local - Mozilla	a Firefox					x
https://app.deepsecurity.trendm	nicro.com/ComputerEditor.screen?hos	ID=61#com.trendmicro.ds.netwo	rkDeepPacketInspect	ion.screen?hostID=	=61	
コンピュータ: ML350G6-	01.toriton.local				0	ヘルプ
日概要	→般 詳細 イベル					
	侵入防御					
	設定: 維承(オン)	•				
WebLビュテーション	ステータス: 🍥 オフ,防御,インストール	保留中, 681 ルール				
ファイアウォール	侵入防御の動作					
🐵 長入防御	 防御 					
🔘 変更監視	● 検出					
セキュリティログ監視	現在割り当てられている侵入防御ルー	<i>ا</i> ل				1
インタフェース	すべて 🔻					
総 時定 "	割り当て唐り当て解除… 🛄 ブロル	パティ 🔂 エクスポート 🔹 🔞 7	アブリケーションの種類	🌆 列		
	名前 ▲	アプリケーションの種類	優先度 重要度	モード	種類	
	🍄 1000128 - HTTP Protocol Decodi.	. Web Server Common	1-低 🚥 高	防御	スマート	=
サ オーバーライド	1000213 - Microsoft Excel rtSERI	Microsoft Office	2-標準 〇中	防御	脆弱性	
	 ID00552 - Generic Cross Site Sc. 		1-低 •• 重大	DATEN	1	
	アイテム 1 - 100/681				$\mathbb{H}^{-} \to \mathbb{H}^{-}$	
	推荐补定					
	1世突滅を 現在のステータス: 6	i81個の侵入防御ルールが割り当てられ	ています			
	前回の推奨設定の検索: た	st.				
	 ・ ・ ・					
	侵入防御の推奨設定を自動的に適用 (可	能な場合): 維承 (はい)	•			
	推奨設定の検索	推奨設定の検索のキャンセ	rib	推選設定をクリア		
				保存	開じる	
						_

- ※ 環境により割り当てられるルールが多くなり、検索に10分以上がかかる場合があります。
- 4. 現在割り当てられている侵入防御ルールのリストにルールが追加されたことを確認します。

in2kee – Mozilla Firefox	
https://app.deepsecurity.trendr	nicro.com/ComputerEditor.screen?hostID=81#com.trendmicro.ds.networkDeepPacketInspection.screen?hostID=81
ンピュータ: win2ke	e 🥡 🗤
概要	
不正プログラム対策	侵入防御
) Webレビュテーション	設定: 継承 (オン) マ フニークフ: (本) 55部 560 リーリ
) ファイアウォール	ステージス、 イン, D3m, 308 ルール (ラス防衛の新作)
● 侵入防御	● 防御
変更監視	● 検出
セキュリティログ監視	現在割り当てられている侵入防御ルール
	<u> </u>
設定	● 割り当て感り当て解除… 目 プロパティ… ほうエクスポート マ ③ アプリケーションの種類… 目 列…
アップデート	
	🧕 1000961 - Microsoft Internet Expl Web Client Internet Explorer/Edge 2 - 標準 🖛 中 防御 攻撃コード
オーバーライド	🮯 1001085 - Microsoft Internet Expl Web Client Internet Explorer/Edge 2 - 標準 💶 高 防御 攻撃그 - ド
	🧑 1000205 - Microsoft Internet Expl Web Client Internet Explorer/Edge 2 - 標準 💶 高 防御 脆弱性 ┏️ 🚺
	アイテム 1 -100/568 イ ト ト
	「推奨設定
	現在のステータス: 568個の侵入防御ルールが割り当てられています
	前回の推奨設定の検索: 2016-01-04 13:38
	✓ 未解決の推奨設定はありません
	侵入防御の推奨設定を自動的に適用(可能な場合): 継承(は、)) ▼
	推奨設定の検索 推奨設定の検索のキャンセル 推奨設定をクリア
	1917 INICO

5.	[概要]-[一般]タブの[ステータスの確認]をクリックし、ステータスを更新します。
	😻 ML350G6-01.toriton.local - Mozilla Firefox
	https://app.deepsecurity.trendmicro.com/ComputerEditor.screen?hostID=81

● 単本 一支 使用 イベント ③ 不正プログラム/注葉 ブラ・クフォール ③ ファイアウォール ブラ・フォーム: ③ クリイアウォール ブラ・フォーム: ③ クリーブ: エレビュー3 ※ 変互加液 マレーブ: ③ クレーブ: エレビュー3 ※ 変互加液 マレーブ: ③ クレーブ: エレビュー3 ※ クレーブ: エレビュー3 ※ 空互加液 マレーブ: ※ セネリディログ型派 マレーブ: ● キュリティログ型派 マレーブ: ※ レーンジフェース マレージ: ※ アンデート ・ ・ アンデート ・ ・ ア・フィン マレージ: ・ ア・フィン オフ・インストールAStTCはません、リールス ア・フィンストールAStTCはません、ルールズム アンシールズ ・ クリア・ログ型派 オフ、インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ、インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ、インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ、インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ、インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ、インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ・レストレルAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ・インストールAStTCはません、ルールズム アンライン: オフ・レス・レストレストレストレストレストレス アンラン: アン	コンピュータ: ML350G6	01.toriton.local			@ ヘルプ
② 不正プログラム/注 ○ ③ アレアウォール ブラホフォーム: ③ アレアウォール ブラホフォーム: ③ アレアウォール ブラホフォーム: ③ アレアウォール ブラホフォーム: ③ 水源語説 ジルーナ: ③ たキュリティログ語説 ● ④ セキュリティログ語説 ● ④ たって、 ● ④ 沙子: ● ● クタックス ● ● パンクフェース ● ● アンガデート ● ● オーバーライド ● ● クタの確認 スレ ステーシスの確認 ● クラーバ: ● クラーバ: ● クラーバ・ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	■ 概要	一般 処理 イベント			
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ◎ 不正プログラム対策 ◎ Webレビュテーション ◎ ファイアウォール 		soft Windows Server 2008 R2 (64 bit) Build		
● 東芝記規 約シー:: Base Policy * RJ Policy ※ 接換 ● たキュリティログ監視 は * 構築 ● インタフェース * オー * ● インタフェース * オー * ● インタフェース * * ボボ ● インタフェース * * ボボ ● インタフェース * * * ● インタン * * * ● インタン * * * ● クリディン * * * ● インパーライド * * * ● クリディン * * * ● クリア・レ * * * ● クリア・レ * * * ● フリア・レ *	 受入防御 	グループ: コンt	La-9	-	
● セキュリティログ監視 ● 00 ● 00 ● 00 ● クリライア・グラデート ・ クライマンデデートのダウスロード ・ ブライマンデナンのRelayグルーブ ● 第 ・ アップデート ・ クラーシスの確認 ・ アーシスの確認 ・ ア・フィント ・ クラーシスの確認 ・ アーシスの確認 ・ クラーシェン ・ フ・クスノントールおれていません ・ クラーシェン ・ フ・クスノントールおれていません、ハールスル 支配論 ・ フ・クスノントールおれていません、ルールスル 支配論 ・ フ・クスレール・ハールスル ブレライン: ・ 山水れ ・ ブレライン: ・ 山水れ ・ ブレライン: ・ 山水れ ・ ブ・クス・ ・ 山水和 ・ ブ・クス・ ・ 山水 ・ ブ・クス・ ・ 山水 ・ ブ・クス・ ・ コ・・ ・ ブ・ク・ ・ 山水 ・ フ・ク・ ・ 「しま・ ・ ロットル ・ ・ ロットル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <td< td=""><td>🌍 変更監視</td><td>ポリシー: 姿産の重要度: tal</td><td>e Policy • RJ Policy</td><td>▼ 編集</td><td></td></td<>	🌍 変更監視	ポリシー: 姿産の重要度: tal	e Policy • RJ Policy	▼ 編集	
 ^ル ^ル ^ル ^ル ^{1 ^ル}	セキュリティログ監視	セキュリティアップデートのダウンロード プラ-	イマリテナントのRelayグループ	 ····································	
● 数元 ● Agent ステータス ● Agent ステータス ● スラータスの確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■ インタフェース	π:			
保護 開にる	 ● 設定 « ■ アップデート ● オーバーライド 	ステータス ④ Agent ステータス: ステータスの確認 不正ブログラム対策: オフ・インストール ツビビビュテーション: オフ・インストール 受入防衛: イフ・インストール 受入防衛: イフ・インストール 受入防衛: イフ・インストール 支入ガロシーン: オフ・インストール 支入ガロシーン: オフ・インストール 支入助子: オフ・インストール 支しディン学家 オフ・インストール プレライン: はい 前回の油言: 2015-08-2012.51 スタータスの確認 警察点	されていません されていません されていません。 されていません、ルールなし されていません、ルールなし されていません、ルールなし されていません、ルールなし 0 15-のクリア		日 (在) (日しる)

※ ステータスに警告やエラーが出た場合、[警告/エラーのクリア]をクリックし、再度[ステータスの確認]をクリックしてください。

※ ステータスの確認中は、[ステータスの確認]はグレーアウトしクリックできません。

- 6. ステータスが以下状態になったことを確認します。
 - ▶ ステータスが[管理対象(オンライン)]である
 - ▶ 以下 4 つの項目が[オン]である
 - ① 不正プログラム対策
 - ② Web レピュテーション
 - ③ 侵入防御
 - ④ セキュリティログ監視

	阃 Agent
ステータス:	😑 管理対象 (オンライン)
不正プログラム対策:	🚱 オン,リアルタイム
Webレビュテーション	😨 オン
ファイアウォール:	🌚 オフ, インストールされています, ルールなし
侵入防御:	🎧 オン,防御, 568 ルール
変更監視:	🍈 オフ, インストールされています, ルールなし
セキュリティログ監視:	🚱 オン, 2 ルール
オンライン:	Itu
前回の通信	2016-01-04 13:53

- 7. [閉じる]ボタンで詳細画面を閉じます。
- 8. サーバの画面右下のタスクバーで[Trend Micro Deep Security]アイコンをダブルクリックし、開いた画面で Agent が[実行中]であり、以下 4 つの項目に緑の丸がついていることを確認します。
 - ① 不正プログラム対策
 - ② Web レピュテーション
 - ③ 侵入防御
 - ④ セキュリティログ監視

🕑 Agent	実行中	Þ	
😑 不正プログラム対策	リアルら	274	
😑 Webレピュテーション	オン		
ファイアウォール	設定な	<i>ا</i> ل	
😑 侵入防御	568 /B	のルール	
● 変更監視	設定な	<i>ا</i> ل	
⊜ セキュリティログ監視	2個の	ルール	
ンポーネント			
不正プロ	ヴラムからの保		
ダメージクリーンナップテンプレート	1458		
許可アプリケーションリスト	3		
IntelliTrap除外パターンファイル	0.787.00		
IntelliTrapパターンファイル	0.167.00		
スパイウェア/グレーウェアパターンファイル	13.09		
Aegis話キ可リストパターンファイル	1.313.00		
検索院外パターンファイル	110100		
OEM検索除外パターンファイル	110000		
ローカルの検索除外パターンファイル	110000		
4n			
不正なWebページのブロック時にご承知り	wh		
	<u></u>)		
¥8			

- 9. 管理画面とエージェント画面を閉じて、初回の手動検索は完了です。 ※管理画面は Web ブラウザの×で閉じて問題ありません。
- ✓ 本作業にて Deep Security マネージャ画面にて対象コンピューターが管理対象であることの確認 が取れました。

4. プロキシ経由接続のエージェントのインストール

インターネットにプロキシ経由で接続するサーバにエージェントをインストールする手順です。

1. エージェントのダウンロードページにアクセスします。

直接 URL にアクセスする場合は、以下 URLをサーバの Web ブラウザのアドレスバーに入力します。 http://downloadcenter.trendmicro.com/index.php?regs=jp&cm_sp=Header-_-Do wnload-_-dc

Trend Microホームページからリンクをたどる場合、以下のように開きます。

http://www.trendmicro.co.jp/⇒ [ダウンロード]⇒[最新版ダウンロード]



エージェントのダウンロードリンクをクリックします。

最新版ダウンロードの一覧から、[統合サーバセキュリティ対策]欄の [Windows 版 Deep Security Agent / Relay / Notifier]をクリックします。



統合サーバセキュリティ対策

- Deep Security Manager
- Deep Security Virtual Appliance
- Linux 版 Deep Security Agent / Relay
- UNIX版 Deep Security Agent
- Windows版 Deep Security Agent / Relay / Notifier
- 拡張子が zip のインストールプログラムをダウンロードします。
 <u>拡張子が zip で、OS の bit にあったインストールプログラム</u>をダウンロードします。
 拡張子が msi のインストールプログラムは使用しません。

画面には、zip、msi の両方のインストールプログラムが出ますので、ダウンロードするファイルの拡張 子が.zip であることを確認してください。

オペレーティングシステム: Windows 64bit

ダウンロード内容	リリース日付	ファイル名	サイズ(MB)
インストールプログラム Build: 3500.00 日本語版	2015-12- 01	Agent-Windows-9.6.1-3500.x86-64.zip Windows 64 bit版 Deep Security Agent 9.6 Patch 1 のインストーラ です。	55.8

※ ダウンロード時の最新版が出てくるため、ファイル名の拡張子以外の文字は異なる可能性があります。

※ OSのbitにより、64bit、32bitのいずれかを選んでください。

※ ファイルのダウンロードでは、実行ではなく[保存]を選んでください。

- ダウンロード、した zip ファイルをサーバ上で解凍します。
 ※ ZIP ファイルを解凍せずダブルクリックでに開いて次の手順に進むとインストールが不完全になりますので、必ず解凍してから次の手順に進んでください。
- 5. 解凍するとフォルダができるので、フォルダ内の Windows インストーラパッケージ(ここでは拡張子が msi)をダブルクリックします。

G V Agent-V	Vindo	vs-9.6.1-3500.i386 • • • •	Agent-Windows-9.6.	1-3500.i386 🔎
整理 ▼ 👘 インスト-	-ル・	• 共有 ▼ 新しいフォルダー		= • 🔟 🔞
☆ お気に入り	^	名前	更新日時	種類
] ダウンロード		\mu META-INF	2015/12/24 15:50	ファイル フォル
🗐 最近表示した場所		🔂 Agent-Core-Windows-9.6.1-3500.i386.msi	2015/11/02 19:41	Windows インス
ー 「「デスクトップ		Feature-AM-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
	=	Feature-DPI-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
		Feature-FW-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
		Feature-IM-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
■ ドキュメント		Feature-LI-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
📓 ピクチャ		Feature-WRS-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:29	DSP ファイル
😸 ビデオ		Plugin-Filter-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
🎝 ミュージック		Plugin-FWDPI-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
		Plugin-Update-Windows-9.6.1-3500.i386.dsp	2015/11/02 19:28	DSP ファイル
🌉 コンピューター	-			•
Agent-Core- Windows イン	Wind ストー	bws-9.6.1-3500.i3 更新日時: 2015/11/02 19:41 ラー パッケージ サイズ: 12.4 MB	作成日時: 2015,	/12/24 15:50

6. インストールが始まります。設定は初期値で進めます。

👸 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 💶 🗙	👸 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 💶 🗙
Trend Micro Deep Security Agent セットアッ プウィザードへようこそ	使用許諾契約書 以下の使用許諾契約書をよくお読みください。
セットアップウィザードでは、Trend Micro Deep Security Agent の機能をコンピュータにインストールする方法を変更したり、コン ビューダの5 Trend Micro Deep Security Agent 発明能したりで	
きます。後行するには、「スペータンリックしくいたくい。セットアッフ ウィザードを終了するには、「キャンセル」をグリックしていたさい。	本後のの規則相能認知り引きにごさなしては、後のインストールメティント) に給納すれている使用特能認知識者で確認ださい。 格納されている使用許能認知識と当社Webサイドに掲載している使用許能認
	約割に買なる定めがあった場合には、当社Webサイトに掲載されている使用 許諾契約書が優先されます。 また、CD-FOMがどのインストールメディアのない製品やサービスにつき
	ては、当社Webサイトに掲載している契約書をご確認くださいますようお月 2
	印刷(P) 戻る(B) 次へ(N) キャンセル
👸 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 📃 🗖 🗙	週 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 📃 💌 🗙
インストール先フォルダ 既定のフォルダにインストールするには [次へ] をグリックし、別のフォルダを選択する には [変更] をグリックします。	Trend Micro Deep Security Agent のインストール準備完了
Trend Micro Deep Security Agent のインストール先:	インストールを開始するには「インストール」をグリックしてください。インストール設定を確認また は変更するには「戻る」をクリックしてください。ウィザードを終了するには「キャンセル」をクリック してください。
C:¥Program Files¥Trend Micro¥Deep Security Agent¥ 家更(_)	
3	(4)

🦻 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 🔷 🗖 🗙	👸 🛛 Trend Micro Deep Security Agent セットアップ 🛛 🗕 🗖 🗙
Trend Micro Deep Security Agent をインストール中	Trend Micro Deep Security Agent セットアッ プウィザードが完了しました
Trend Micro Deep Security Agent をインストールしています。しばらくお待ちください。	セットアップウィザードを終了するには、[完了] ボタンをグリックします。
状態: コンボーネントの登録を更新しています	
5	6
戻る(B) 次へ(b) キャンセル	戻る(B) 完了(F) 「たいプロル」

7. タスクバーに[Trend Micro Deep Security]のアイコンが表示されたことを確認します。



- 8. プロキシサーバ登録、エージェント有効化のため、コマンドプロンプトを起動します。
 - ※ コマンドプロンプトをメニューやタスクバーから見つけにくい場合、[Windows]+[R]キーを押し、 [ファイル名を指定して実行]画面で、[名前]に[cmd]と入力して[OK]で呼び出すのが便利で す。

C 5.	管理者: C:¥Windows¥system32¥cmd.exe	
Microsoft Windows (c) 2012 Microsoft	[Version 6.2.9200] : Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥Administr	rator>_	

以下の手順を実施し、プロキシサーバを登録します。
 △は、半角スペース1つを意味します。

(ア) クラウドサービス for サーバーセキュリティエージェントのインストールフォルダに移動します。

 $cd \triangle "C: \texttt{Program} \triangle \texttt{Files} \texttt{Trend} \triangle \texttt{Micro} \texttt{Poep} \triangle \texttt{Security} \triangle \texttt{Agent}"$

(イ) プロキシサーバの登録を、以下の形式のコマンドで実行します。 dsa_control△-x△"dsm_proxy://[プロキシ IP アドレス又はホスト名]:[ポート番号]" ※ プロキシサーバの IP アドレスが[192.168.10.100]、ポートが[8080]の場合、コマンド は以下になります。

dsa_control -x "dsm_proxy://192.168.10.100:8080/"

- ※ プロキシサーバのホスト名が[proxy.example.co.jp]、ポートが[8888]の場合、コマンドは以下になります。
 dsa_control -x "dsm_proxy://proxy.example.co.jp:8888/"
- (ウ) 以下のメッセージが返ってくれば、プロキシサーバの登録は成功です。

HTTP Status: 200 - OK

Response:Add proxy-address:[dsm_proxy] with value:[192.168.10.100:8080/]

プロキシサーバのホスト名、IP アドレスを間違った場合、以下のコマンドでプロキシサーバ設定を クリアしてから、再設定してください。

dsa_control△-x△""

プロキシで認証を行っている場合は、次に進みます。 認証がない場合、手順 10 に進みます。

(エ) プロキシ認証有の場合、認証情報を以下形式でコマンド登録します。

dsa_control△-u△"[認証ユーザ名]:[認証パスワード]"

※ プロキシ認証情報がユーザ名[user01]、パスワードが[pass01]の場合、コマンドは以下になります。
 dsa_control -u "user01:pass01"

プロキシ認証は、Basic 認証のみ利用できます。 Digest 認証と NTLM 認証はサポートしていません。

(オ) 認証情報の登録コマンドの結果は出力されないので、プロンプトが返れば登録完了です。

登録を間違った場合、以下コマンドで認証設定をクリアしてから、再設定してください。 dsa control△-u△""

※ コマンドプロンプトは次の手順で使用するため、まだ閉じません。

- 10. Deep Security Manager (クラウドサービス for サーバーセキュリティの Web 管理画面) に、 お客様のテナント認証情報でサインインします。
 - ※ URLは、[https://cloudone.trendmicro.com/]です
 - ※ 認証情報として、[メールアドレス]、[パスワード]の二点を入力し、[ログオン]をクリックします。

\leftrightarrow \rightarrow C iii cloudone.trendmicro.com	er Q @	
nend Micro Cloud One" 👐 😁 Log4j03	■大な発明性 Ivend Micro Cloud Chellよる文庫(Log4のパイド生表示 Evelot B	#1
Trend Micro Cloud (
	ログオン	1
	PROVIEL-06 X-APFL2	
	メールアドレス・	
	お客様メールアドレス	
	お客様にて設定したPW	
	UZZ-KEENSEE	
	□ アカウントを記憶	
	0//#>	
	#72/3	
	サインアップ	
	すべてのTrend Micro Cloud Oneなービスの30目壁敷料律 錬統をお試しください、クレジットカードは不要です。	

11. [Workload Security] をクリックします。



12. Deep Security Manager でクラウドサービス for サーバーセキュリティ エージェントの有効化スク リプトを作成します。

Deep Security Manager 画面の右上にある [サポート] をクリックし、表示されるメニューから [インストールスクリプト] をクリックして、インストールスクリプトジェネレータを起動します。

	-	ويتعانية المرات	- ログオフ 🔞 サポート 🗸
			はじめに
			オンラインヘルプ
			インストールスクリプト
גי	×	ライセンス情報	サポート
		4 E 🗖	Agentのダウンロード (油田またま学初25曲)

- 13. [プラットフォーム:]のリストダウンボックスで、エージェントをインストールするサーバの OS に該当するプ ラットフォームを選択します
 - ※ Windows Server 2008 R2 以降の OS は 64 bit のみです。
 - ※ プラットフォームが[なし]しか出ない場合、システム要件にあっていない Web ブラウザを使用して いないか確認してください。

ンストールスクリプト RightScale、Chef、Puppet、SSH	などのツールを使用して、Agentを手動でイン	バストールまたは配信できます。
WindowsとLinux以外のプラットフォ	ームについては、インストールガイドを参照して	ださい。
プラットフォーム:	なし	-
Agentを自動的に有効化	CloudLinux 5 (64 bit) CloudLinux 6 (32 bit) CloudLinux 6 (64 bit) Microsoft Windows (32 bit)	^
	Microsoft Windows (64 bit) Oracle Linux Release 5 (32 bit) Oracle Linux Release 5 (64 bit) Oracle Linux Release 6 (32 bit) Oracle Linux Release 6 (64 bit)	
	Red Hat Enterprise 4 (32 bit) Red Hat Enterprise 4 (64 bit) Red Hat Enterprise 5 (32 bit) Red Hat Enterprise 5 (64 bit) Red Hat Enterprise 6 (32 bit)	E

- 14. [Agent を自動的に有効化] をチェックします。
 - ※ その下にある、[セキュリティポリシー]、[コンピュータグループ]、[Relay グループ]の設定は変更 不要です。

RightScale、Chef、Puppet、SS WindowsとLinux以外のプラット	iH <mark>などのツールを使用して、Agentを手動でインス</mark> フォームについては、インストールガイドを参照してくた	Rトールまたは配信できます。 ざさい。
ブラットフォーム:	Microsoft Windows (64 bit)	•
☑ Agentを自動的に有効化		
セキュリティポリシー:	なし	•
コンピュータグループ:	コンピュータ	•
Relayグループ:	プライマリテナントのRelayグループ	•
備考 Agentからのリモー の手順ページを参照	ト有効化では、ホスト名、説明、一意のID、およびその 風してください。)他のブロバティも設定できます。

15. 枠内のスクリプトを全て選択し、右クリックのメニューから[コピー]します。

インストールスクリプト		
RightScale、Chef、Puppet、SSHなど WindowsとLinux以外のブラットフォー	ごのツールを使用して、Agentを手動でインス ムについては、インストールガイドを参照してくだ	ストールまたは配信できます。 ださい。
プラットフォーム:	Microsoft Windows (64 bit)	•
☑ Agentを自動的に有効化		
セキュリティポリシー:	なし	•
コンビュータグループ:	コンピュータ	•
Relayグループ:	プライマリテナントのRelayグループ	•
備考 Agentからのリモート有効 の手順ページを参照して	b代では、ホスト名、説明、一意のID、およびその ください。	の他のブロパティも設定できます。詳細については、オンラインヘルプのコマンドライン
& \$Env:ProgramFiles"¥Trend Micro¥D	eep Security Agent¥dsa_control [#] -r	
& \$Env:ProgramFiles" ¥ Trend Micro¥De ACFC5E8902DD" "tenantPassword:90	eep Security Brantides control> dom//saa 1337F2-7 元に戻す(U)	ents deepsecurity trandmicro.com/443/tenantID/A151BD55-7FDF-1BF4-7E51-
Stop-Transcript echo *\$(Get-Date -format T) - DSA	Deploymen 切り取り(<u>T</u>)	
K/powershell>	⊐ピー(<u>C</u>)	
-	貼り付け(<u>P</u>) 削除(<u>D</u>)	間じる

- 16. メモ帳を起動し、手順 15 でコピーしたスクリプトを貼り付けます。
 - ※ メモ帳をメニューやタスクバーから見つけにくい場合、[Windows]+[R]キーを押し、[ファイル名 を指定して実行]画面で、[名前]に[notepad]と入力して[OK]で呼び出すのが便利です。



- 17. 下から4行目の、[dsa_control" -a]の行を選択します
 - ※ 行番号は実機では異なる可能性があります
 - ※ この行には、お客様固有の[tenantID]、[tenantPassword]が記載されています

🗒 無題 - メモ帳 🗕 🗖	x
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(Y) ヘルプ(H)	
<pre>Spowershell> [Net:ServicePointManager]::ServerCertificateValidationCallback = [\$true] \$env:LogPath = "Senv:appdata¥Trend Micro¥Deep Security Agent¥installer" New-Item -path \$env:LogPath -type directory Start-Transcript -path "Senv:LogPathVdsa_deploy.log" -append echo "\$(Get-Date -format T) - DSA download started" (New-Object System.Net.WebClient).DownloadFile ("Arttps://app.deepsecurity.trendmicro.com:443/software/agent/Windows/x86_64/", "\$env:temp¥agent.msi") echo "\$(Get-Date -format T) - DsA download started" echo "\$(Get-Date -format T) - Downloaded File Size:" (Get-Item "Senv:temp¥agent.msi").length echo "\$(Get-Date -format T) - DsA install started" echo "\$(Get-Date -format T) - DsA install started" echo "\$(Get-Date -format T) - Installer Exit Code: " (Start-Process -FilePath msiexec -ArgumentList "/i \$env:temp ¥agent.msi /gn ADDLOCAL=ALL /l*v "\$env:LogPathVdsa_install.log" "Wait -PassThru).ExitCode echo "\$(Get-Date -format T) - DSA activation started" \$tart-\$leep -s 70 % \$Env:ProgramFiles"¥Trend Micro¥Deep Security Agent¥dsa_control" -r & Security -r & Se</pre>	
V powersne riz	\sim

- ※ 画面の右側表示が切れた場合、[書式]→[右端で折り返す]にチェックを入れて、メモ帳を折り 返し表示してください。
- ※ 画面は折り返し表示をしているメモ帳です。
- 18. 選択した行を、コピーします([Ctrl]+[C])。
- 19. [ファイル]→[新規]で、新規メモ帳画面を表示します。
 - ※ [無題への変更内容を保存しますか?]とでたら、[保存しない]を選択します。

					無題 - メモ帳	C
ファイ	ル(F)	編集(E)	書式(O)	表示(V)	//プ(H)	
	新規 ()	V)		Ctrl+N		^
	開く (0))		Ctrl+0	verlertificateValidationUaliback = {%true} rend Micro*Deep Security Agent¥installer"	
	上書き	保存(S)		Ctrl+S	ype directory	
	名前を	付けて保存	(A)		pgPath¥dsa_deploy.log″-append	
	ページ	设定(U)			ht).Download started	
	印刷(P	P)		Ctrl+P	pdmicro.com:443/software/agent/Windows/x86_64/", "\$eny:temp¥agent.msi")	
	メモ帳の	0終了(X)			-Downloaded File Size: (Get-Item ⊅env:temp‡agent.msi).length DSA install started″	
ech ¥ag ech	o \$(ent.m o ~\$(r+-\$1	Get-Dat si /qn Get-Dat	te -tori ADDLOC te -fori 70	mat 1) · AL=ALL / mat T) ·	- Installer Exit Code:" (Start-Process -FilePath msiexec -ArgumentList "/i \$env:temp 'l*v ``\$env:LogPath¥dsa_install.log`"" -Wait -PassThru).ExitCode DSA activation started"	
88	Env:P	rogram	≓íľes″¥	Trend Mi	cro¥Deep Security Agent¥dsa control″-r	
& \$	Env:P	rogram	Files‴¥ RD66-7E	Trend Mi	cro¥Deep Security Agent¥dsa_control″-a dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ 7E61-ACEC5E8902DD″″tenantPassword:901337E2-A2D0-C2DB-C27E-14818E29B85C″	
Stc ech	р-Тга о ~\$(inscript Get-Dat	t te -fori	mat T) ·	DSA Deployment Finished″	
<td>owers</td> <td>sneil></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>\sim</td>	owers	sneil>				\sim

20. コピー内容を貼り付けます([Ctrl]+[V])。

	_	x
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)		
dsa_control″-a dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ ″tenantID:A151BD66-7FDF-1BF4-7E61-ACFC5E8902[″tenantPassword:901337F2-A2D0-C2DB-C27E-14818F29B85C″])D″	^

21. 張り付けた行を、メモ帳上で以下のように加工します。 △は半角スペース1つを意味します。 変更前

dsa_control" △ -a △ dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ △ "tenantID:[お客様のテナント ID]"△"tenantPassword:[お客様のテナントパスワード]"

変更後(dsa_controlの後のダブルクォーテーションマーク(")1 つを取りました)

dsa_control △ -a △ dsm://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ △ "tenantID:[お 客様のテナント ID] " △ "tenantPassword: [お客様のテナントパスワード] "

22. 前の手順(手順 22)で加工した行を、選択しコピーします。

			無題 - メモ帳	x
ファイル (F)	編集(E) 書式(O)	表示(V) へい	r(H)	
dsa_con	元に戻す(U)	Ctrl+Z	security.trendmicro.com:443/ "tenantID:A151BD66-7FDF-1BF4-7E61-ACFC5E8902DD"	^
tenant	切り取り(T)	Ctrl+X	5-U27E-14818FZ9B850	
	⊐ピ–(C)	Ctrl+C		
	貼り付け(P)	Ctrl+V		

- 23. コマンドプロンプト画面を前面表示します。
- 24. コマンドプロンプト画面上で右クリックし、メニューから[貼り付け]を選択します。

	無題 - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V)	∧レプ(圧)
dsa_control″-a dsm://agents. ″tenantPassword:901337F2-A2D0	deepsecurity.trendmicro.com:443/ "tenantID:A151BD66-7FDF-1E I-C2DB-C27E-14818F29B85C"
	管理者: C:¥Windows¥system32¥cmd.e
	Microsoft Windows [Version 6.2.9200] (c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.
	C:¥Users¥Administrator> 範囲指定(K)
	レニー(Y) Enter 見はり付け(P)
	すべて選択(S) スクロール(L)
	検索(F)

25. 貼り付けた行の最後にカーソルがあることを確認して、Enterキーを押します。

C:¥Program Files¥Trend Micro¥Deep Security Agent>dsa_control -a dsm://agents.dee psecurity.trendmicro.com:443/ "tenantID:7A914B7E-4BC9-44BB-A3BD-57EC0902EFDB" "t enantPassword:CAE0831D-04D8-BC45-66AA-366928051EE7"

26. 実行結果を確認します。

以下のような画面出力で、[Command session completed.]で終われば完了です。

HTTP Status: 200 - OK

Response:

Attempting to connect to https://agents.deepsecurity.trendmicro.com:443/ SSL handshake completed successfully - initiating command session. Connected with AES256-SHA to peer at agents.deepsecurity.trendmicro.com Received a 'GetHostInfo' command from the manager. Received a 'GetHostInfo' command from the manager. Received a 'SetDSMCert' command from the manager. Received a 'SetAgentCredentials' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'GetInterfaces' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'GetAgentStatus' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'SetSecurityConfiguration' command from the manager. Received a 'GetAgentEvents' command from the manager. Received a 'GetAgentStatus' command from the manager. Command session completed.

- ✓ 本作業にてクラウドサービス for サーバーセキュリティのエージェントインストールが正常に終了しました。
- 27. 以上でインストールは完了です。インストールの正常終了を確認するため、次章の手順を実施しま す。

- 4.1. インストール正常終了の確認
- 1. Deep Security Manager の[コンピュータ]タブを開き、エージェントをインストールしたサーバのホス ト名と表示されることを確認します。

🥏 TREND. Deep	o Security	ロジオ
ダッシュボード	アラート イベントとレポート コンピュータ ポリシー 管理	
] I.Ma-9	コンピュータ サブグループを含む マ グループ別 マ	Q. 83
	□ 新規 ・ □ 刑印… □ 副詳細… 処理 ・ イベト ・ □ エクスポート ・ □ ■ 詳細…	
	名前 ~ 取明 ブラットフォーム ポパシー	ステータス
	目 コンピュータ(2)	
	📄 ec2-54-188-181-77.us このコンピュー気は、Deep Security Microsoft Wind なし	● ポリシー逆信中
	J ML350G6-01.toriton.local Microsoft Wind 않는	● 管理対象 (オンライン)
	(

※ ここでステータスにエラーや警告があっても問題はありません。

2. ポリシーを変更します。

登録したサーバを選択し反転している状態で、[処理]→[ポリシーの割り当て]をクリックし、表示されるポリシー一覧からポリシー(※)を選択し[OK]をクリックします。



※ 適用するポリシーは、以下のように OS により異なります。

- > OS が【Windows Server 2003 32bit 以外】の場合は、【RJ Policy】を選択します。
- OS が【Windows Server 2003 32bit】の場合は、【RJ Policy(2K3_32bit)】を選択します。
- 3. ポリシー欄で割り当てたポリシー名が表示されたことを確認します。

🤊 TREND. Deep Security			RJ_DSaaSTest_FS	3_SVSprt <mark>Useradmin</mark>	- ログオフ 🔞	ヘルブ 🗘 サポート情報	Ŧ
ダッシュボード	アラート	イベントとレポート	コンピュータ	ボリシー	管理		
	コンピュ	ータ サブグルーブを含む /8アカウントの追加 G* 新規	 ▼ グループ化しない ・ □ 削除 □ 	▼			•
	名前	説明		プラットフォーム	ポリシー ▲	ステータス	
	TX12	083-01		Microsoft Wind	. RJ Policy	🌻 複数の警告	

Trend Micro Deep Security Agent サービスの再起動を行います。
 OS のサービス画面から[Trend Micro Deep Security Agent]サービスを選択し、右クリックのメニューから[再起動]を選択します。

※ サービス画面を見つけにくい場合、[Windows]+[R]キーを押し、[ファイル名を指定して実行] 画面で、[名前]に[services.msc]と入力して[OK]で呼び出すのが便利です。

Q サービス					
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)				
	à 🔒 🛛 📷 🕨 🔳 🕕 🕨				
🔍 サービス (ローカル)	名前 -	説明 状態	スタートアップの種類	ログオン	
	SSDP Discovery	SSDP	無効	Local S	
	System Event Notification Service	システ 開始	自動	Local S	
	🖏 Task Scheduler	ユーザ… 開始	自動	Local S	
	🖏 TCP/IP NetBIOS Helper	ネット 開始	自動	Local S	
	🔍 Telephony	テレフ	手動	Network	
	🧠 Thread Ordering Server	特定	手動	Local S	
	🖏 TPM Base Services	システ	手動	Local S	
	Characteristics Trend Micro Deep Security Agent	開始(S)		Local S	
	🔍 Trend Micro Deep Security Notifier	停止(O)		Local S	
	California Micro Solution Platform	一時停止(U)		Local S	
	🔍 UPnP Device Host	再開(M)		Local S	
	🔍 User Profile Service	再起動(E)		Local S	
	💁 Virtual Disk		▶ ►	Local S	
	🐏 Volume Shadow Copy			Local S	
	Section 2015 Audio	最新の情報に更	新(F)	Local S	
	Windows Audio Endpoint Builder	ブロパティ(R)		Local S	
	Stem Windows Color System			Local S	
	1 100 Windows Driver Foundation - User-mo	A 16-7(H)		Local S	

Deep Security Manager で[警告/エラーのクリア]を実施します。
 [コンピュータ]タブで登録したサーバをダブルクリックし、詳細画面を開き、[概要]-[一般]タブの[警告/エラーのクリア]をクリックします。

😧 TX120S3-01 - Mozilla Firefox		_ 🗆 ×
https://app.deepsecurity.trendmicro	ro.com/ComputerEditor.screen?hostID=62	
コンピュータ: TX120S3 -	-01 🥹	ヘルプ
■ 標要		
📀 不正プログラム対策	プラットフォーム: Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 bit) Service Pack 1 Build 7601	
📟 Webレビュテーション	グループ: コンピュータ ・	
🐵 ファイアウォール	ポリシー: RJ Policy 編集	
📀 侵入防御	資産の重要度: なし ■ 編集	
🛞 変更監視	セキュリティアップテートのダウンロード(プライマリテナントのRelayグループ 東: 電集	
セキュリティログ監視 セキュリティログ監視	 ۲٫۶٫−٫۹٫	-1
📟 インタフェース	le Agent	
	ステータス: 😑 複数の警告	
📮 アップデート	警告/エラー: 不正ブログラム対策保護がは、助、期限初れ セキュリティアップデート: Agent/Applianceでのパターンファイルのアップデート失敗	
	不正プログラム対策: 🚱 不正プログラム対策保護がないか、期限切れ、セキュリティアップデート: Agent/Applianceでのパターンファイルのアップ	デー
	Webレビュテーション: 🎧 オン	
	ファイアウォール: 💿 オフ, インストールされています, ルールなし	
	侵入防御: 💮 オン,防御,ルールなし	
	変更監視: 🕘 オフ, インストールされています, ルールなし	
	セキュリティログ監視: 💊 オン, 2 ルール	
	オンライン: はい	
	前回の通信: 2016-01-04 11:36	
	ステータスの確認 警告/エラーのクリア	
		-
		▶
	保存 開じる	-

6. 画面が更新され、ステータス欄で[ステータス]が管理対象(オンライン)となり、警告/エラーの項目が 消えたことを確認します。

イエーダイ	
	阃 Agent
ステータス:	😑 管理対象 (オンライン)
不正プログラム対象	毎: 🚱 オン,リアルタイム
Webレビュテーショ	ン: 😱 オン
ファイアウォール:	🌚 オフ, インストールされています, ルールなし
侵入防御:	🌍 オン,防御,ルールなし
変更監視:	🍈 オフ, インストールされています, ルールなし
セキュリティログ監護	視: 😱 オン, 2 ルール
オンライン:	latu
前回の通信:	2016-01-04 11:36
ステータスの	確認 警告/エラーのクリア

7. ステータスが[管理対象(オンライン)]となれば、インストール正常終了の確認が完了です。

	p Security				- ログオコ	ク 🔞 ヘルブ 🗘 サポート情報	
ダッシュボード	アラート イベントとレポート	コンピュータ	ポリシー 1	5理			
目 コンピュータ サブヴルーブを含む マ グループ別 マ Q 検索						¹	
	□ 新規 ・ 1 削除 詳細… 処理 ・ イベント ・ 1 エクスポート ・ 1 黒列…						
	名前 🔺 🔡	印月	プラットフォーム	ポリシー	ステータス	ポリシーの送信の成功	
	E コンピュータ(2)						
	ec2-54-188-181-77.us	のコンピュータは、 Deep Securit	y Microsoft Wind	. <i>t</i> al	😑 管理対象 <mark>(</mark> オンライン)	1時間前	
	ML350G6-01.toriton.local				😑 管理対象 (オンライン)	22.分前	

※ ステータスが[セキュリティアップデートの実行中]や[管理対象(オフライン)]となった場合、10分ほ どおいてから[ステータスの確認]をクリックし、管理対象(オンライン)となるかを確認してください。

NL350G6-01.toriton.local - Mozil	la Firefox	Ber Martin Street and Street Street Street Street			- • ×
https://app.deepsecurity.trendr	micro.com/ComputerEditor.screen?ho	stID=81			
コンピュータ: ML350G6-	-01.toriton.local				@ へルプ
2 概要	→ 設 処理 イベント	1			
📀 不正プログラム対策					
🚭 Webレビュテーション					
🞯 ファイアウォール	ブラットフォーム:	Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 bit) Build 7600			
📀 侵入防御	グループ:	コンピュータ	-		
変更監視	ポリシー:	Base Policy RJ Policy	-	福集	
● セキュリティログ監護	資産の重要度:	tal.	-	編集	
	セキュリティアップデートのダウンロード ー・	ブライマリテナントのRelayグループ	-	福集	
1ンタフェース					
💮 設定 🧠	ステータス				
🔒 アップデート	🖲 Agent				
ಈ オーバーライド	ステータス: 😑 ステータスの	56632			
		トールされていません			=
	webbとユナージョン、 (() オフ,インス)	トールされていません 1つのルール			
	日本 (金) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10) (10	トールされていません、ルールなし			
	変更監視: () オフ,インス	トールされていません, ルールなし			
	セキュリティログ監視: 🅘 オフ, インス	トールされていません、ルールなし			
	オンライン: はい				
	前回の通信: 2015-08-20	0 12:50			
	フテレクスの破壊	*** (T== 0.01)7			
	717 X71474880				
				保存	開じる

8. 以上で正常終了の確認は完了です。初回手動検索を開始するため、次章の手順を実施します。

4.2. 手動検索の実施

1. Deep Security Managerの[コンピュータ]タブを開き、登録したコンピュータをダブルクリック、または 右クリックからのメニューで[詳細]を開きます。



2. [侵入防御]をクリックします。

UL350G6-01.toriton.local - Mozill	la Firefox						×
A https://app.deepsecurity.trendn	micro.com/ComputerEditor.screen?ho	ostID=61#com.trendmicro.ds.	networkDeepPack	etInspection	.screen?hostID=	61	
コンピュータ: ML350G6-	-01.toriton.local					Q	へいき
一 概要 ② 不正プログラム対策 ③ 水正プログラム対策 ③ 次クアウォール ③ 次見監視 ④ 変更監視 ④ セキュリティログ監視 ● インタフェース	 一般 詳細 イベント (役入防御) 設定: 継承(オン) ステータス: (④ オフ,防御, インストー) (役入防御の動作: (● 防御) 使出 現在割り当てられている侵入防御ル 「すべて ▼ 	■ レ保留中、ルールなし ール					
	割り当て/割り当て解除 🔟 プ	ロバティ 🔝 エクスポート 👻	🔞 アプリケーション	の種類 [🙀 列		
	名前 🔺	アプリケーションの種類	優先度	重要度	モード	種類た	=
<u> </u>		₪スト℩ϲアイテム	」がありません)				
	•	m				Þ	
	 推奨設定 現在のステータス: 前回の推奨設定の検索: ▲ 未解決の推奨設定: (0個の侵入防御ルールが割り当て 2015-08-10 15:08 687(個の追加ルールの割り当て 可能な場合): 総承(はい) 推奨設定の検索の	られています マ キャンセル	ł	崔顕設定をクリア		
					保存	R1 R1	>

3. [推奨設定の検索]をクリックします。

😢 ML350G6-01.toriton.local - Mozill	a Firefox			
A https://app.deepsecurity.trendn	icro.com/ComputerEditor.screen?hostID=61#com.tre	ndmicro.ds.networkDeepPa	cketInspection.screer	n?hostID=61
コンピュータ: ML350G6-	01.toriton.local			@ ヘルプ
概要				
	□			^
	設定: 維承 (オン) 🔹			
webbcar-vay	ステータス: 🌑 オフ,防御,インストール保留中,681 ルー	μ		
🧐 ファイアウォール	侵入防御の動作			
📀 侵入防御	 序詞 1011 			
🛞 変更監視	0 復出			
🕙 セキュリティログ監視	「現在割り当てられている侵入防御ルール			
🎟 インタフェース	ৰু বি 👻			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	割り当て唐り当て解除 🔟 プロパティ 😰 エク	スポート 👻 💽 アブリケーショ	ンの種類 🌆 列	
	名前 🔺 アブリケーション	の種類 優先度	重要度 モード	種類
	4000128 - HTTP Protocol Decodi Web Server Co	mmon 1-低	🎫 高 防御	スマート
	1000213 - Microsoft Excel rtSERI Microsoft Office Microsoft Office	2-標準		能弱性
	1000552 - Generic Cross Site Sc Web Abblication	1 Common 1 - 10	● 重八 phit#	*
	アイテム 1 - 100/681			$\mathbb{H} \twoheadrightarrow \mathbb{H}$
	現在のステータス: 681個の侵入防御ル	ールが割り当てられています		
	前回の推奨設定の検索: なし			
	推奨設定の検索結果なし			
	侵入防御の推奨設定を自動的に適用(可能な場合): 継承	າສເມ 🝷		
	推調設定の検索 推調	設定の検索のキャンセル	推掇設定る	をクリア
				(9.75 P911'Z
				IN 19

- ※ 環境により割り当てられるルールが多くなり、検索に 10 分以上がかかる場合があります。
- 4. 現在割り当てられている侵入防御ルールのリストにルールが追加されたことを確認します。

in2kee – Mozilla Firefox	
https://app.deepsecurity. trendr	nicro.com/ComputerEditor.screen?hostID=81#com.trendmicro.ds.networkDeepPacketInspection.screen?hostID=81
ンピュータ: win2ke	و 🔞 🖓 الم
概要	
入不正プログラム対策	▲
▶ Webレビュテーション	設定: 継承 (オン) ▼ フニークフ: ● オン Star Seg () - 1.
) ファイアウォール	ステージス、 イン, 93時, 308 ルール (ラス防衛の新作)
● 侵入防御	Bistory Contraction
変更監視	● 検出
セキュリティログ監視	現在割り当てられている侵入防御ルール
	<u> </u>
設定	※ 割り当て傷り当て解除… 目 ブロバティ… ほうエクスポート ▼ ③ アブリケーションの種類… 目 ブル・
マップデート	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	. 📀 1000961 - Microsoft Internet Expl Web Client Internet Explorer/Edge 2 - 標準 🖛 中 防御 攻撃コード
オーバーライド	🧐 1001085 - Microsoft Internet Expl Web Client Internet Explorer/Edge 2 - 標準 💶 高 防御 攻撃コード
	🥺 1 000205 - Microsoft Internet Expl Web Client Internet Explorer/Edge 2 - 標準 💶 高 防御 脆弱性 🗾
	アイテム 1 - 100/568
	「推奨設定
	現在のステータス: 568個の侵入防御ルールが割り当てられています
	前回の推奨設定の検索: 2016-01-04 13:38
	✔ 未解決の推奨設定はありません
	侵入防御の推奨設定を自動的に適用(可能な場合): 維承 (は、) ▼
	推奨設定の検索 推奨設定の検索のキャンセル 推奨設定をクリア
	/0 * P81-2

5.	[概要]-[一般]タブの[ステータスの確認]をクリックし、ステー	ータスを更新します。
	NL350G6-01.toriton.local - Mozilla Firefox	- • ×
	https://app.deepsecurity.trendmicro.com/ComputerEditor.screen?hostID=81	
	コンピュータ・MI 350G6-01 toriton local	@

コンピュータ: ML350G6	-01.toriton.local				🔞 ヘルナ
📕 概要	→ 設 処理 イベント				
◎ 不正プログラム対策					^
💿 Webレビュテーション					
◎ ファイアウォール	ブラットフォーム:	Microsoft Windows Server 2008 R2 (64 bit) Build 7600)		
📀 侵入防御	グループ:	コンピュータ	•		
	ポリシー:	Base Policy RJ Policy	-	福集	
	資産の重要度:	なし	-	編集	
	セキュリティアップデートのダウンロード	ブライマリテナントのRelayグループ	-	編集	
🥮 インタフェース					
🌼 設定 裕	「ステータス				
見 アップデート	Agent				
45 オーバーライド	ステータス: ステータス:	5682			
	不正プログラム対策: 💿 オフ,インスト	ールされていません			=
	WebDEar-9a9: (77,192)				
		~ールされていません、1つのルール			
	(長人防御: ()) オフ,インスト	~ールされていません、ルールなし			
	変更監視: () オフ、インスト	ールされていません、ルールなし			
	セキュリティログ監視: 🍥 オフ, インスト	ールされていません、ルールなし			
	オンライン: はい				
	前回の通信: 2015-08-20	12:50			
	ステータスの確認	警告/エラー のクリア			
					-
				保存	閉じる

※ ステータスに警告やエラーが出た場合、[警告/エラーのクリア]をクリックし、再度[ステータスの確認]をクリックしてください。

※ ステータスの確認中は、[ステータスの確認]はグレーアウトしクリックできません。

- 6. ステータスが以下状態になったことを確認します。
 - ▶ ステータスが[管理対象(オンライン)]である
 - ▶ 以下 4 つの項目が[オン]である
 - ① 不正プログラム対策
 - ② Web レピュテーション
 - ③ 侵入防御
 - ④ セキュリティログ監視

	🖲 Agent
ステータス:	● 管理対象 (オンライン)
不正プログラム対策:	😘 オン,リアルタイム
Webレビュテーション:	③ オン
ファイアウォール:	🌚 オフ,インストールされています,ルールなし
侵入防御:	🎧 オン,防御, 568 ルール
変更監視:	🍈 オフ, インストールされています, ルールなし
セキュリティログ監視:	😱 オン, 2 ルール
オンライン:	(atu)
前回の通信:	2016-01-04 13:53
ステータスの確認	認 警告/エラー のクリア

- 7. [閉じる]ボタンで詳細画面を閉じます。
- 8. サーバの画面右下のタスクバーで[Trend Micro Deep Security]アイコンをダブルクリックし、開いた画面で Agent が[実行中]であり、以下 4 つの項目に緑の丸がついていることを確認します。
 - ① 不正プログラム対策
 - ② Web レピュテーション
 - ③ 侵入防御
 - ④ セキュリティログ監視

Magent	実行中	
● 不正プログラム対策	リアルタイム	
😑 Webレビュテーション	オン	
🔍 ファイアウォール	設定なし	
😑 侵入防御	568個のルー)	μ
● 変更監視	設定なし	
😑 セキュリティログ監視	2個のルール	
ンボーネント		
不正プロ	グラムからの保護	-
ダメージクリーンナップテンプレート	1458	
許可アプリケーションリスト	3	
IntelliTrap除外パターンファイル	0.787.00	
IntelliTrap/%ターンファイル	0.167.00	
スパイウェア/グレーウェアパターンファイル	13.09	
Aegis許可リストパターンファイル	1.313.00	
ー 検索院外パターンファイル	110100	
OEM検索除外パターンファイル	110000	
ローカルの検索除外パターンファイル	110000	
130		
190 不正プログラムの検出時に通知(M)		
90 「不正プログラムの検出時に通知(M)」 「不正なWebページのブロック時に通知()	<u>w</u>)	
90 「不正プログラムの検出時に通知(M)」 「不正な Webページのプロック時に通知(19	<u>w</u>)	

- 9. 管理画面とエージェント画面を閉じて、初回の手動検索は完了です。 ※管理画面は Web ブラウザの×で閉じて問題ありません。
- ✓ 本作業にて Deep Security マネージャ画面にて対象コンピューターが管理対象であることの確認 が取れました。

以上で、クラウドサービス for サーバーセキュリティの導入作業は終了です。